

熊野桜佐ポンプ場が完成 ～地域の内水氾濫を軽減するポンプ場が完成します～

1 目的

熊野桜佐地区（熊野排水区：132ha）は、庄内川と内津川に挟まれ、地区雨水の排水先である河川の水位が上昇した場合に排水能力が低下し、内水氾濫が発生しやすい環境となっていました。こうした地区の課題を軽減するため、県立春日井工科高等学校の南の場所に、河川水位の上昇による影響を受けることなく、地区雨水の排水が可能なポンプ場が3月末に完成します。



2 概要

(1) 諸元

- ・場 所 桜佐町字下五反田4892番地
- ・排水能力 12.412m³/秒
 - ※ 25mプール（375m³）を約30秒で排水
- ・建 物 R C造 地上5階、地下1階
- ・設 備 φ1500立軸斜流ポンプ 2台
φ900立軸斜流ポンプ 1台
- ・停電対策 自家発電機（500KVA） 1台
 - ※ 停電時、施設を運転するために必要な24時間分の燃料を貯蔵



(2) 事業概要

- ・総事業費 約4,020,000千円
- ・工事期間 令和元年8月から令和5年3月まで

(3) ポンプ場の役割

ポンプ場が <u>ない</u> 。	ポンプ場が <u>ある</u> 。
河川水位が上昇すると排水能力が低下 	河川水位が上昇しても排水が可能

(4) 外部放送スピーカー

災害時に避難情報等が放送できる設備を設置しました。平常時は放送設備の動作確認と災害風化防止のため、午後5時に「夕焼け小焼け」のメロディを放送します。

3 しゅん工式典と内覧会

ポンプ場の完成に伴い、地区の浸水対策におけるポンプ場の役割の周知と日常の防災意識の向上のため、しゅん工式典と内覧会を開催します。

しゅん工式典	3月11日(土)	しゅん工式典 午前10時から
内覧会		しゅん工式典終了後から正午まで
報道機関等向け内覧会	3月9日(木)	午後1時から午後3時まで